

令和6年度大阪府立吹田東高等学校

第3回学校運営協議会

日時：令和7年2月10日（月）

場所：大阪府立吹田東高等学校 校長室

委員	吉川 正晃	吹田市立千里丘中学校 校長
	和田 大志郎	吹田東高等学校 後援会会長
	春貴 勇力	吹田東高等学校 PTA会長
	佐伯 勇	甲南女子大学 教授
	飯田 亮真	アレグロ法律事務所 弁護士
校長	東 知佐子	吹田東高等学校 校長
事務局	山室 裕	吹田東高等学校 教頭
	神谷 朋子	吹田東高等学校 事務長
	村上 明弘	吹田東高等学校 首席
	丸山 勉	吹田東高等学校 指導教諭
	関小田 久美子	吹田東高等学校 教諭
	田口 隆史	吹田東高等学校 教諭

◆開会挨拶

大阪府立吹田東高等学校 校長 東 知佐子

◆議 事

○報告事項

(1) 授業アンケートについて 《資料①》

(東校長より資料説明)

○第2回実施時期・方法

- ・令和6年12月24日（終業式）マークシート方式
- ・アンケート結果 個人の集計結果（全員）、記述内容（該当教員のみ）を返却
- ・自身で数値やフリーアンサーに記述された意見については分析し対策を校長に報告（予定）
- ・第2回授業アンケートは8月～12月末までの結果となる。

○結果分析

【学校平均】

- ・令和6年度の1回目の授業アンケートはこれまで以上に高い値となったが、第2回もそれとほぼ同じ値となった。
- ・最も重視している「授業に関する生徒の意識1・2」についても、第1回よりほんのわずかだが上がっている。
- ・第1回に比べて「生徒理解」がやや下がったものの、それ以外の項目では第1回以上の成績が出ている。
- ・学校教育自己診断においても、生徒の授業満足度は飛躍的に伸びた令和3度が82%、その後は令和4年77%、令和5年度は74%の満足度となり下がっていたが、今年度は84%と上昇した。

【教員集団分析】

- ・非常勤講師の先生方の数値が低めに出る傾向は第1回目と変わらず。ただし、持ちコマが少なく、生徒と触れる機会も少ない非常勤講師でありながら、これだけの平均値を出していただいていることは、むしろ高く評価すべきかとも思われる。
- ・第2回目は、非担任の平均値がやや上昇。生徒にとっての「慣れ・身近さ」は必要であるという裏付けにはなった。
- ・教員の年代別の平均値の比較を行った。

【教科別分析】

○本校の授業改善活動

- ・中間考査後より公開授業週間を実施し、各教員1回は他の教員の授業を見学し「授業観察シート」を指導教諭に提出することとした。
- ・今年度は公開授業週間において、1人1台端末を使用した授業を研究授業の対象とし、8つの授業で研究討議を行った(11月中旬)。さらに1月下旬には、中山芳一先生を招いて、英語と地理の授業にて「すいひの力」の非認知能力を高めるための研究授業を行った。千里丘中学からも校長先生と研究主任の先生方がお越しくださり、ともに研究討議を行った。

Q 委員 今年度また結果が上がっているが。特に質問項目4から9で上がっており、良い傾向だと思う。何か手立てはあったのか。

A. 1人1台端末の有効活用や教員の年齢層の変化が影響しているのでは。

(2) 学校教育自己診断について 《資料②》

(村上首席より資料説明)

○結果と分析

- ・アンケート全般では、この3年間において生徒・保護者とも多数の項目でほぼ同様の傾向を示しています。質問項目によっては、肯定的回答率が減少しているものもありますが、多くの項目で増加しており、80%以上の肯定的回答が保護者では8項目、生徒では21項目あります。
- ・「吹田東高校に進学して(させて)よかった(生徒設問1、保護者設問1)」の肯定的回答が、生徒は88.7%(昨年度+6.0ポイント)に、保護者は90.2%(昨年度+2.0ポイント)にそれぞれ上昇し、今後も同等の肯定的回答が得られるように学習活動はじめ、部活動や行事など充実したものになるよう努めていきます。
- ・生徒設問2、保護者設問4の生徒指導については、生徒・保護者とも肯定的回答が70%以上(生徒75.9%昨年度+5.8ポイント、保護者72.7%昨年度+2.6ポイント)になっています。校則等については見直しも含め今後も検討していきます。
- ・多くの行事でコロナ禍以前の形態に戻り、また改善され、「学校行事が充実するように工夫されている(生徒設問7)」「自分自身は体育祭、文化祭などの生徒会活動やクラス活動に積極的に参加している(生徒設問18)」のなど行事に関する値は今年度も上昇しました。
- ・生徒設問10の「授業」についての生徒の満足度は、令和2年度の69%から令和3年度の82%で大幅に上がりましたが、直近2年は令和4年度77.0%、令和5年度74.3%と低下傾向を示していました。今年度は84.5%に増加しており、授業アンケートの結果も参考にし、より良い授業づくりに努めていきます。
- ・生徒の設問22と保護者の設問23は、昨年から質問項目を変更し、地域との交流だけでなく、外部(大学、企業、海外姉妹校等)との交流する機会がありますか、という質問にしています。総合探究等で外部連携に注力していることや、今年は海外姉妹校の生徒と本校での交流会もあり肯定的回答が大幅に増加しています。
- ・生徒の設問17の進路指導についての肯定的回答率は例年高く、今年度は92.8%(昨年度+3.6ポイント)と上がっている。学校の先生が実施する講習(生徒設問30)や青葉丘セミナー参加者の満足度(生徒設問34)は今年度95%以上ととても高い値となっています。今後も充実した情報収集や講習を行っています。

- ・「施設・設備」についての満足度（生徒設問 25、保護者設問 11）は生徒・保護者とも 85%以上の高い値を維持しつつ、さらに上昇傾向にあります。プールの改修工事が完了し、DX ハイスクールに認定されて実施してきた設備投資などの効果が寄与していると考えます。
- ・コロナ禍における制限により一時的に数値が低下していた、保護者の「公開授業や文化祭・体育祭、講演会などの学校行事に出席したことがある（保護者設問 9）」の肯定的回答の値は、回復・上昇傾向にあり令和 6 年度も 80.1%と高い数値を維持しています。
- ・1 人 1 台端末については多くの授業で有効的に活用され、数値は年々上昇し、今年度は 84.3%の生徒が使い方に満足しています。（生徒設問 36）
- ・Web ページの閲覧率（生徒設問 35、保護者設問）は例年低かったですが、今年度から公式インスタグラムを開設し、行事や部活動等の多くの情報を配信したことにより、この値は飛躍的に上昇しました（生徒 49.8%昨年度+37.1 ポイント、保護者 58.5%昨年度+17.7 ポイント）。公式インスタグラムを多くの生徒や保護者が閲覧していることを示唆しています。
- ・教職員に関して、「よくあてはまる」の値が大きく上がっている項目としては、次の項目等が挙げられます。「いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。」「学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている」「体罰やセクシュアル・ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢にもとづいた生徒指導が行われている。」「学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。」

委員 教員用アンケートで、今年度は「④全くあてはまらない」の回答が少しある。

Q.委員 保護者アンケートで「子どもは、学校（クラス）が楽しいといっている」が、学年が上がるごとに回答が下がっている。何か原因はあるのか。

A. 3 年生は部活を引退し、受験等があるからでは。昨年は 3 年が一番高かったが、数値は同じくらい。1・2 年生の数値は今年度は高い。

Q.委員 保護者アンケートで「吹田東高校はいじめなど子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくる」や「子どもの心身の健康について気軽に先生に相談できる」の肯定的回答が他の項目と比べて極端に低いのはなぜか。

A. どちらも肯定的回答の値が低い理由としては「わからない」の回答が非常に高いためとなっている。

A.委員 生徒の回答で同様の項目を見ると肯定的回答が多いため、問題ないのではないか。問題がないから保護者に話さず、保護者の「わからない」の回答が多いと考えられるのではないかと。

（3）国際交流委員会活動報告 《資料③》

（田口教諭・関小田教諭より資料説明）

○海外交流校の来校

- ・台湾との対面交流（4 月 1 6 日）
- ・マジーとの対面交流（4 月 2 2 日）

○R6 年度オーストラリアスタディツアー（7 月 2 9 日～8 月 6 日）

○海外交流校とのオンライン交流（1 2 月 1 7 日）

○来年度について

- ・オーストラリアのアデレードへのツアーとする。

Q.委員 生徒は希望者が参加するのか。

A. 希望生徒が多い場合は英語での面接や作文で選考する。

Q.委員 大学では円安の影響を受け、希望者が減少しているが、そのようなことは無いか。

A. 保護者の希望も強く、今のところ減少していない。

(4) ルールメイキング活動の外部への発表について 《資料④》

(関小田教諭より資料説明)

○ルールメイキングとりくみ報告

- ・大阪府生徒指導フォーラム（1月21日）において、本校のルールメイキング取り組みを発表した。
- ・生徒の大会も2月に行われ、参加している。

Q.委員 令和4年度からの取り組みだと思われるが、昨年度と今年度の違いは何かあるのか。

A. 話し合う項目は変化しているが、取り組みの流れは同じ。

Q.委員 学校教育自己診断の「生徒の意見をよく聞いてくれる」という項目の肯定的回答が上がっているが、関連があるのでは。

A. 現3年生の入学前から動き始め、1年生の時に髪型等の要望が通り、継続して活動を行ってきたのでその影響はあると思われる。

(5) 令和6年度学校経営計画の達成状況について 《資料⑤》

(東校長より資料説明)

○本年度の自己評価の達成状況の説明

(6) 不登校生徒等を対象とした遠隔授業、通信教育について 《資料⑥》

○令和6年4月から不登校生徒と病気療養中の生徒に遠隔授業を実施。

- ・遠隔授業による習得単位数の上限は36単位。
- ・自宅や登校して別室でのオンライン授業（中継）に参加し出席を認める。
- ・実技科目はスクーリング等を行う。

委員 小中でも遠隔授業は行われている。

Q.委員 実際行われている授業を中継しているのか。

A. 同じ授業に参加している。定期考査も学校で受験する。実技科目は別の形になる。対象生徒は学校での判断になる。

○協議事項

(1) 令和7年度学校経営計画について 《資料⑦》

(校長より資料⑦の令和7年度学校経営計画及び学校評価の説明)

○めざす学校像について

- ・昨年と同じ。

○中期的目標について

- ・昨年度と大きな変化無し
- ・今回は新たに「すいひの力」、生成AI、公式インスタグラムを追加事項として入れた。

【令和7年度学校経営計画のめざす学校像及び中期的目標は承認された】